

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401288
事業所名	グループホーム 名古屋鳴海の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	子ども会の廃品回収の参加や保育園への訪問、中学校の体験学習、ボランティアは紙芝居、歌、踊り、ギター演奏、フラダンス、ベリーダンス、アロマセラピー、歌と弾語りの受け入れをしている。町内会の加入はできていないが回覧板や民生委員や近隣に住んでいるホームの職員に町内清掃等の地域の情報を聞いたり、事業所の行事に呼びかけをしたりしながら交流をしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回開催している運営推進会議では利用者家族、民生委員、いきいき支援センター職員の参加を得ている。ホームから利用者状況や行事を中心に報告し、話し合いが行われている。会議と行事の同時開催で参加者を多く募り、ホームをより良くするために日にちの考慮をしている。その結果今年度の夏祭りの催し物や食事について一緒に考え、良い情報を得られた。昨年12月からは緊張をほぐすための試みとしてグループワーク型の会議にし、話しやすい雰囲気を作り出せるように取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	生活保護の利用者や認定更新の機会などで区役所と情報交換するように努めている。名古屋市長主催の研修に応募し薬剤、クレーム対応、接遇や管理者研修に参加している。研修の面に於いて受講する側だけではなく講師の依頼をされることもあり、緑区役所で開催される介護教室や介護フェスタで講師を行い、入居にも繋がっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	ホーム便りが毎月発行され、利用者の生活の様子を1人ひとりメッセージを添えて知らせ、家族との話題作りに活かしている。家族会の開催はしていないが、ホーム便りを毎月請求書と共に家族へ手渡しする際に意見や要望を聞き、話をする時間を設けている。電話で話をすることもある。利用者の意見は担当の職員が主体となって、普段の何気ない会話や表情や態度で思いを汲み取るよう努めている。月1回の会議や日頃記録をしていくことで職員間の共有や把握をしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。